

平成24年度全国学力・学習状況調査(概要)

調査目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

調査日

平成24年4月17日(火)

調査方式

抽出調査(抽出率約30%)

※平成25年度は、対象学年の全児童生徒を対象とした「きめ細かい調査」を実施予定

調査対象

小学校第6学年(約30万人)、中学校第3学年(約40万人)

調査内容

- ①教科に関する調査(国語、算数・数学、理科) **※理科は今回初めて追加(理科は3年に1程度実施予定)**
 主として「知識」に関する問題／主として「活用」に関する問題(※理科は両者を一体的に出題)
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 児童生徒に対する調査／学校に対する調査

①教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
<ul style="list-style-type: none"> ・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 ・様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語の勉強は好きですか、授業の内容はどの程度分かりますか、一日にテレビを見る時間、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上や学習の定着に向けた取組、習熟度別少人数指導、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など

平成24年度全国学力・学習状況調査の結果について(概要)

教科に関する調査結果～理科における主な結果～

【平均正答率が低いもの】

観察・実験の結果などを整理・分析した上で、解釈・考察し、説明することなどに課題が見られる。

●小学校理科

・観察・実験の結果を整理し考察すること

(例: 天気の様子と気温の変化の関係についてデータを基に分析して、その理由を記述する設問 [4] (5) (小学校理科で最も平均正答率が低かった設問 (17.1%)))

・科学的な言葉や概念を使用して考えたり説明したりすること

(例: 水が温度によって水蒸気や湯気に変化する性質と、この性質が風車を動かすエネルギーとして利用されることに着目して考察する設問 [3] (5)力(42.7%))

●中学校理科

・実験の計画や考察などを検討し改善したことを、科学的な根拠を基に説明すること

(例: 豆電球と発光ダイオードを用いた電流回路をつくる実験の方法を検討し改善して、科学的な根拠を基に正しい実験方法を説明する設問(中学校理科で最も平均正答率が低かった設問 [2] (2) ((7.8%)))

・実生活のある場面において、理科に関する基礎的・基本的な知識や技能を活用すること

(例: 水生類であるカエルを飼育する場面において、成長に応じて環境を整えた理由を説明する設問 [1] (2) (38.5%))

【平均正答率が高いもの】

○小学校理科

・物は形が変わっても重さは変わらないこと の理解 [1] (1) (85.9%)

・方位磁針の名称の理解(小学校理科で最も平均正答率が高かった設問 [4] (2) (89.8%))

○中学校理科

・電力に関する知識を活用して、LED電球の省エネの効果を考えること [2] (3) Y (84.8%)

・地層のつながりや成り立ちを調べるために、断層の有無や地層に含まれている粒に着目するという地層観察の技能に関する知識(中学校理科で最も平均正答率が高かった設問 [3] (1) (87.3%))

教科に関する調査結果～国語、算数・数学における主な結果～

【平均正答率が低く課題が見られるもの】

記述式問題を中心に課題が見られる。
(初めて出題した「ヒストグラム」(数学)等においても同様)

●国語

小学校: グラフや表に含まれる情報を正確に読み取った上で、話したり書いたりすること

(例: 資料「部活動に対する満足度」の内容を読み取った上で、中学生に対して質問をしたい内容を記述する設問 B [2] 二 (52.9%))

中学校: 相手の発言を注意して聞き、自分の考えを具体的に書くこと

(例: 「美しい日本語とは」をテーマにした対談を読んで、これからどのような言葉の使い方をしたいのかを具体的な言葉の例を挙げて書く設問 B [1] 三 (20.6%))

●算数・数学

小学校: 方法や理由を言葉や数を用いて記述する際、場面の状況や問題の条件に基づいて、必要な事柄を過不足なく記述すること

(例: 買い物の場で考えられる二つのお金の支払い方を解釈し、一方の支払いの方が、おつりの硬貨の枚数がより少なくなる理由を言葉と数を用いて記述する設問 B [1] (2) (42.8%))

中学校: 数学的に表現したり、数学的に表現された事柄を読み取ったりすること

(例: 二人のスキージャンプ選手の記録を比較し、より遠くへ飛びそうな選手を選び、その理由を数学的な表現を用いて説明する設問 B [3] (2) (47.1%))

生活習慣や学習環境等に関する調査結果～児童生徒に対する調査～

- 理科の勉強が好きな小学生・中学生の割合は国語、算数・数学に比べて高いが、「理科の勉強は大切」「理科の授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つ」と回答した小学生・中学生の割合は国語、算数・数学に比べて低い。

	小学校			中学校		
	理科	国語	算数	理科	国語	数学
勉強が好き	82%	63%	65%	62%	58%	53%
勉強は大切	86%	93%	93%	69%	90%	82%
授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つ	73%	89%	90%	53%	83%	71%

※「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合

- 「理科の授業の内容はよく分かる」と回答した小学生と中学生の割合の差が国語、算数・数学と比べて大きい。

	小学校	中学校	差
理科の授業の内容はよく分かりますか	86%	65%	21%
国語の授業の内容はよく分かりますか	83%	72%	11%
算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	79%	66%	13%

※「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合

- 上記の理科の関心・意欲・態度に関する質問については、いずれも肯定的に回答した小学生・中学生の方が、理科の平均正答率が高い傾向が見られる。(中学生の方が小学生よりも傾向が強く見られる)

- 理科の観察・実験に関する質問について、以下と回答した小学生・中学生の方が、理科の平均正答率が高い傾向が見られる。(中学生の方が小学生よりも傾向が強く見られる)

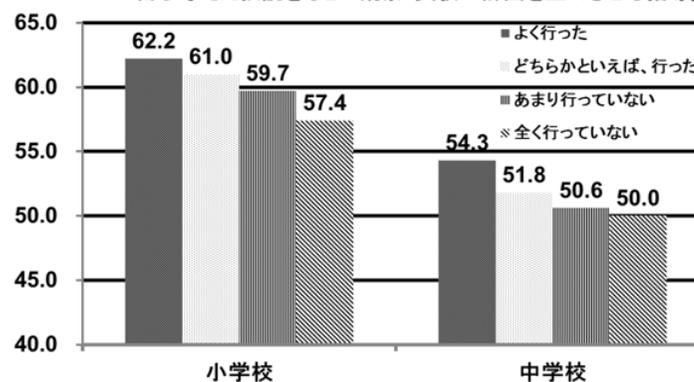
- ・観察や実験を行うことが好き
- ・自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている
- ・観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか振り返って考える 等

生活習慣や学習環境等に関する調査結果 ～学校に対する調査～

- 理科の観察・実験に関する質問について、以下の取組を前年度に行った小学校・中学校の方が、理科の平均正答率が高い傾向が見られる。(中学校の方が小学校よりも傾向が強く見られる)

- ・自ら考えた仮説をもとに観察・実験の計画を立てさせる指導
- ・観察や実験の結果を整理し考察する指導
- ・観察や実験の際のノート等への記録・記述の方法の指導

平均正答率 「自ら考えた仮説をもとに観察・実験の計画を立てさせる指導」



【理科以外の新規項目】

- 自然の中での集団宿泊活動を長い日数行った小学校の方が、国語B・算数Bの平均正答率が高い傾向が見られる。(小学校のみの項目)

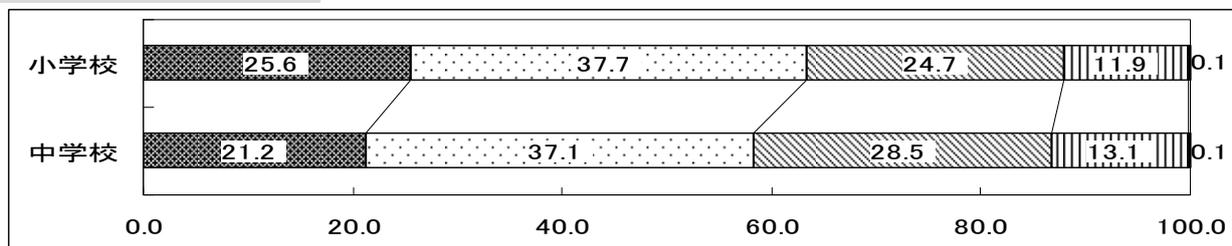
全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙調査の結果
 (主体的に学習に取り組む意欲・態度に関連する項目)

- 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査の結果(平成24年度)では、「学習に主体的に取り組む意欲・態度」に関連する項目について、中学校段階になると肯定的な回答をしている割合が低くなる傾向が見られる。
- 「学習に主体的に取り組む意欲・態度」に関連する項目に肯定的な回答をした児童生徒の方が平均正答率が高い傾向が見られる。

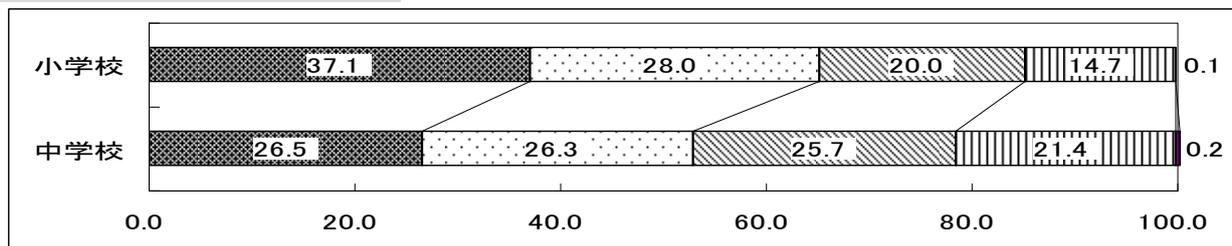
※調査対象：小学校第6学年の児童、中学校第3学年の生徒

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

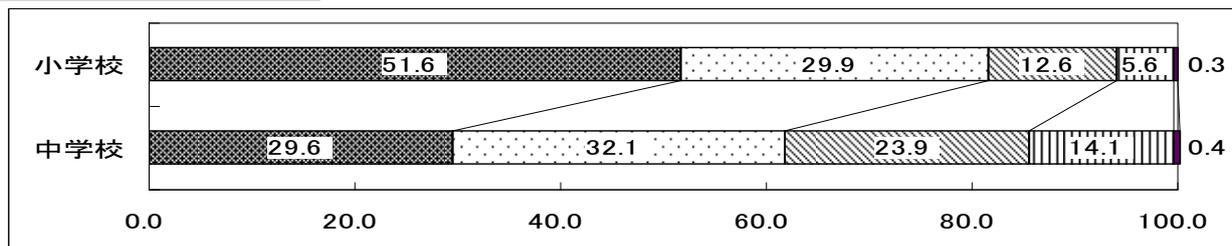
○国語の勉強は好きですか



○算数・数学の勉強は好きですか

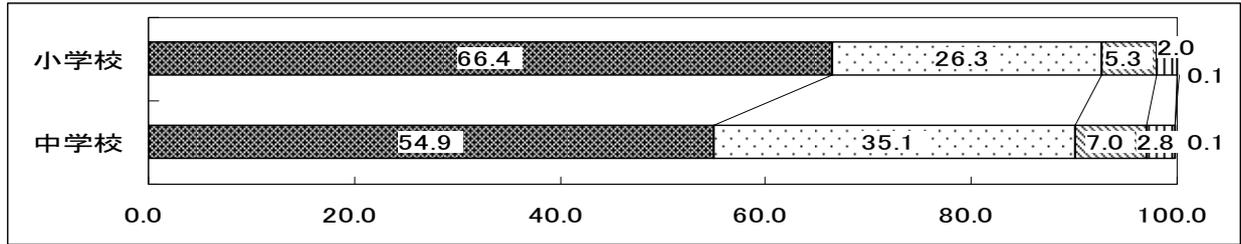


○理科の勉強は好きですか

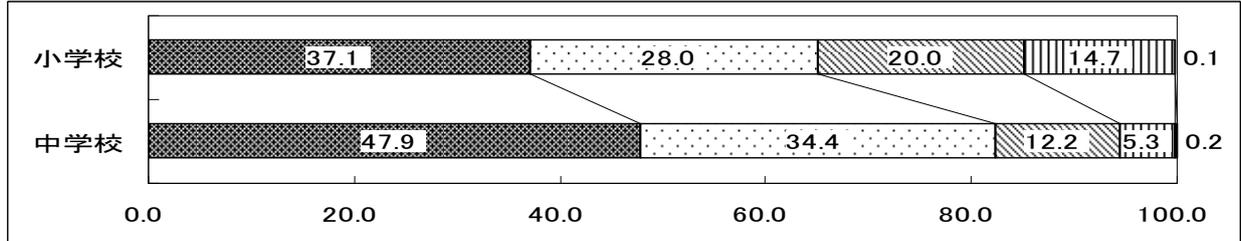


当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

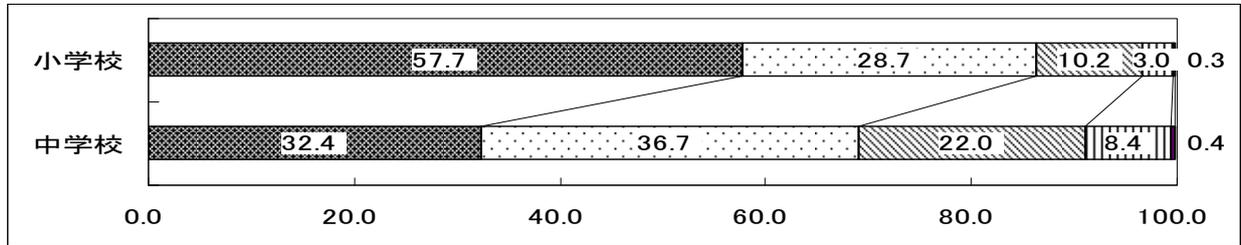
○国語の勉強は大切だと思いますか



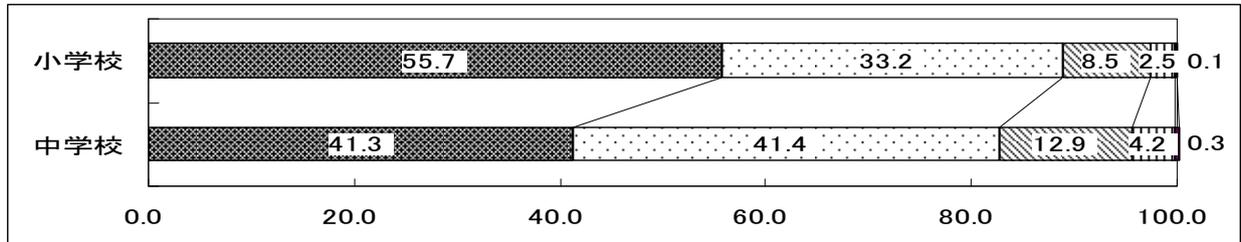
○算数・数学の勉強は大切だと思いますか



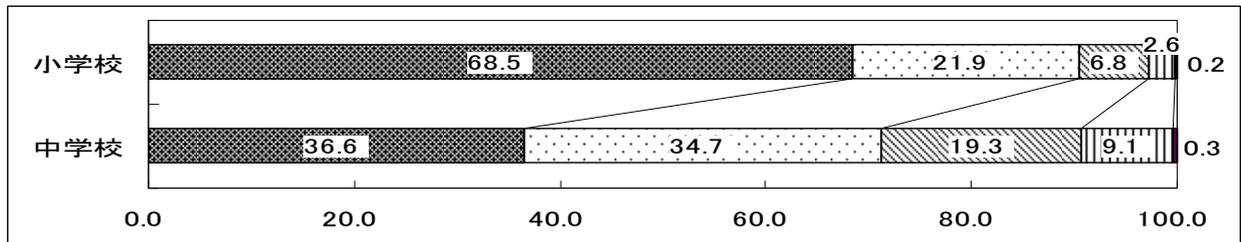
○理科の勉強は大切だと思いますか



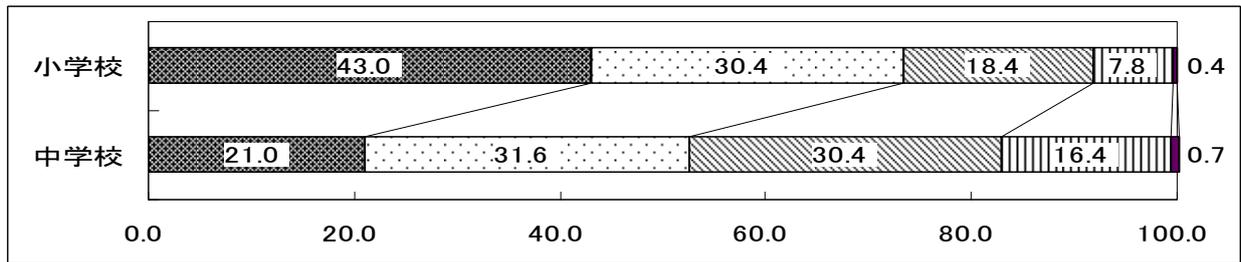
○国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



○算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

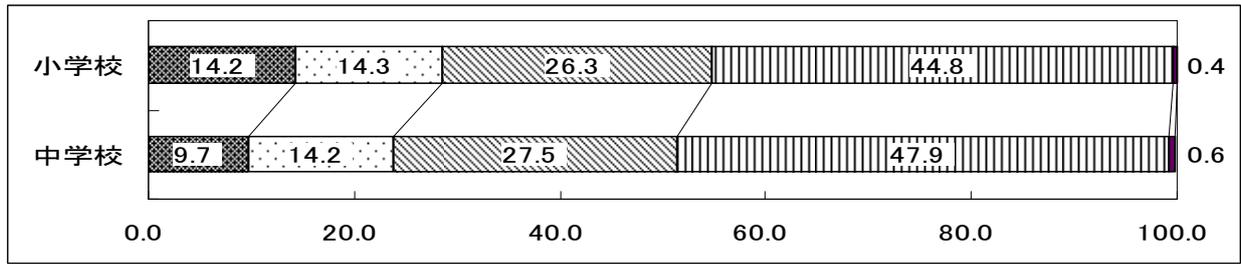


○理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



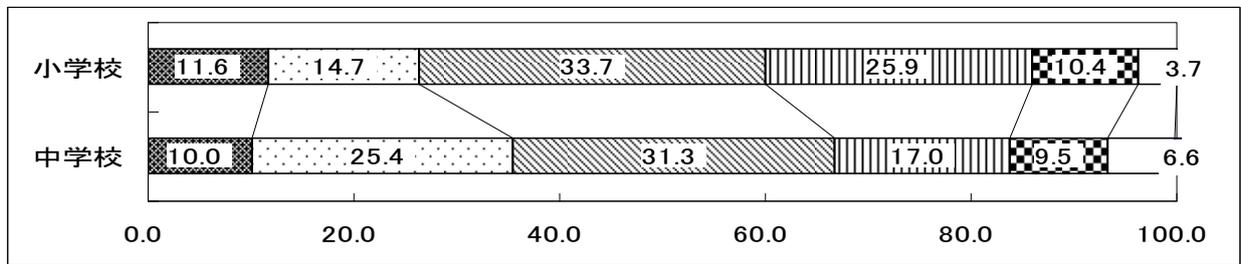
当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

○将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか



3時間以上
 2時間以上、3時間より少ない
 1時間以上、2時間より少ない
 30分以上、1時間より少ない
 30分より少ない
 全くしない

○学校の授業時間以外に、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。）



○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。）

